

電子看板で「災害時の備え」啓発！

「災害時の備え」 電子看板で啓発

エネジンと杏林堂

LPガス販売のエネジン（浜松市中央区）と杏林堂（同）は、薬局店頭でデジタルサイネージ（電子看板）で災害時の停電に備える取り組みの紹介を始めた。

家庭にLPガス発電機を備えておけば、停電しても家電製品を使用できることなどを説明。市内20店舗で映像を流している。

エネジンと杏林堂は2019年に防災活動パートナー協定を結び、杏林堂店舗で炊き出しなどの訓練を実施。今回は8月に発表された南海トラフ地震臨時情報を機に企画した。

エネジンの担当者は「大規模災害が発生し、混乱でさまざまな商品が品切れになる前に、家庭の備えを確認してほしい」と話す。

（成田はな）



デジタルサイネージ（電子看板）を使った災害時の啓発活動を行いました。
防災活動パートナーでもある杏林堂さんとは、過去にも炊き出し訓練等と一緒に実施してきましたが、電子看板を使った呼びかけは今回初！
災害時に地域のためにお役立ちできるよう努めていきます。

令和6年(2024年)10月9日(水) 中日新聞

